

# 家庭菜園相談室

今月の  
テーマ

## 栽培時期にあった品種を選べば 1年中栽培ができます



キャベツはサラダやスープなどいろいろな料理に利用でき、さらに胃腸の不調に効果があるとされるピタミンUをはじめ、ビタミン類やミネラルをたくさん含んでいる栄養豊富な野菜です。

図1 作型目安

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
キャベツ	早生品種 おきなSP・彩峰 など	▲	●	—	—	■	■	■	■	■
	中晩生品種 彩音・夢舞台 など	—	▲	●	—	—	—	■	■	■

▲ 播種 ● 植付け ■ 収穫 ※同じ作型(早生・中晩生など)でも品種により収穫時期などが異なるためラベルをよく確認する

上記以外の  
おすすめ  
品種

- 金系201号 土を選ばず病気にも強いいため、作りやすい品種です。秋まきのみでなく春まきも可能です。
- 新 藍 病気に強く作りやすい品種です。シャキシャキしていて生でも煮ても美味しく食べられます。
- 輝 岬 耐寒・低温肥大性に優れています。年内からの収穫ができる冬どり栽培向けの品種です。
- パワールビー 赤キャベツです。収穫後の日持ちが良く、害虫も付きにくい品種です。

栽培の  
ポイント

- 夏の育苗には、ある程度経験が必要なので、JAの直売所やホームセンターで苗を買い求めたほうが良いでしょう。
- 冷涼な気候を好みますが、栽培適温は5~25℃と範囲が広く、耐寒性も強いです。一方で耐湿性は弱く、特に結球期以降は湿害を受けやすいので注意が必要です。
- 秋まき春どり栽培では、春先になってのトウ立ち(成長点が伸長し花芽分化してしまうこと)が問題となるので、秋まきに適した品種とまき時を選びましょう。
- キャベツは、苗のときに芯を食われると結球できなくなるので、アオムシやヨトウムシなどは、防虫ネットのトンネル掛けで防ぎます。
- 株間を広く取り、外葉を大きく育てると大きな球に、狭くすると小さな球になります。

**播種・育苗**：3号ポット(直径9㎝)に種まき用培養土を入れ、5~6粒ずつ種を播きます。発芽が揃ったら間引きして3本程度にします。本葉2~3枚で1本に間引き、本葉5~6枚まで育苗します。最近では、セルトレー(72穴)で播種・育苗することも多くなりました。根鉢を崩さずに植付けることができ、また涼しい場所へ移動することも容易です。

**畑の準備**：植付けの2週間前に苦土石灰100g/㎡と完熟たい肥1kg/㎡をまき、深さ30㎝位までよく耕します。植付けの1週間前には化成肥料(畑作名人)120g/㎡を施し全体によく混ぜます。

**連輪作**：アブラナ科(白菜・ブロッコリーなど)の連作をすると根こぶ病が発生しやすいので、連作は避けましょう。1~2年以上の輪作をすると良いです。

**栽植密度**：畝幅60~70㎝、株間50㎝、畝高10~20㎝の畝を立てます(水はけの悪い畑では高畝にします)。マルチを敷く場合は、シルバーか銀線入りのマルチフィルムを使うとアブラムシの防除に効果があります。

**植付け**：葉数が5~6枚の苗を植付けます。根鉢を崩さないように植付け、株元にたっぷり水をやります。植付け後は、防虫ネットのトンネル掛けをします。

**追肥・土寄せ**：追肥(畑作名人40g/㎡)は中耕と土寄せを兼ねて定植から30~40日後ごろ(本葉15~20枚ごろ)までに行います。苗が小さいときは株のまわりに、大きくなってからは畝の肩に肥料をばらまき、土を削りながら株元に土寄せします。

**収穫**：球が大きくなったら手で押さえてみて、硬く締まっていたら収穫します。早生品種は、収穫時期が遅れると、裂球しやすいので注意します。

家庭菜園に関する相談は、営農経済センターのTAC(タック)までご連絡ください。